

トヨタ流技法を学ぶ！リモートでシステムエンジニア体験(豊田自動織機 IT ソリューションズ)

・受入企業 株式会社豊田自動織機 IT ソリューションズ(情報通信)

・テーマ トヨタ流問題解決技法を学ぶ！システムエンジニアの仕事体験

・POINT!

「システムエンジニアとはどんな仕事?」「オンラインでの仕事はどうやるの?」「トヨタの問題解決技法ってどんなもの?」そんな疑問を一気に解決できるオンラインインターンシップ。

参加学生は「トヨタ流問題解決技法」を学んだうえで、システムエンジニア体感ワークに取り組みます。

プライベートでも活かせる問題解決技法が学べるだけでなく、実際の社員がコロナ禍で行っているオンライン上でのディスカッションや顧客ヒアリング、提案資料作成などの経験が可能です!

・実施内容

1 ワーク「システムエンジニアってどんな仕事?」

2 講義「トヨタ流問題解決とは何か?」

3 トヨタ流の問題解決技法を実践するシステムエンジニア体験ワーク

ワーク①「工場の操作パネルにクレーム多発!?何が問題?」

ワーク②「人気商品に欠品が?解決するためには何をすれば?」

4 内定者との座談会

5 まとめ、フィードバック

※より深く豊田自動織機 IT ソリューションズやIT業界について知りたい学生向けのインターンシップも別途実施しています。

・スケジュール

8月27日(木)~8月28日(金)の2日間(12時間)

	AM	PM
8/27(木)	システムエンジニアについて調べてみよう	トヨタ流問題解決技法についてについてシステムエンジニア体感ワーク①
8/28(金)	システムエンジニア体感ワーク②	内定者との座談会

・受入担当者コメント

当社のシステムエンジニアは、お客様からヒアリングし、課題解決をメインに行う仕事です。もちろん実際のお客様の現場を確認するのも大切ですが、コロナ禍の緊急事態宣言時には7割以上の社員が在宅勤務を実施し、リモートで仕事に取り組んでいました。その状況をまさに再現したプログラム構成になっています。

インターンシップ中はトヨタ流問題解決技法をお伝えするだけでなく、実践ワークにおいて採用担当からのアドバイスやフィードバックも行っています。オンラインならではのグループワークを行うコツもお伝えしつつ、2回のワークを経て対面と同じような一体感を感じ取っていただけたと思います。

・参加学生の声(人文学部3年)

システムエンジニアの仕事が文系の私にもできるのか不安に思っていたのですが、実際に文系出身者も多く、社員研修等で手厚い指導が受けられ、文系も活躍できる職種であることがわかりました。日々ひたすらPCに向き合うイメージでしたが、現実には顧客の問題解決のためにヒアリングを行い、適切な提案をすることが中心であり、想像以上にコミュニケーション能力が求められるということが新たな発見でした。グループワークでは、トヨタ流の問題解決技法やヒアリングの大切さなど、普段は得ることのできない知識や経験を得るとともに、ワークをする中で自分の弱みや改善すべき点を発見できました。社員の皆さんもとてもフレンドリーで、企業の雰囲気がオンライン上でも伝わってきて、参加前はIT業界についてあまり知識がありませんでしたが、今回のインターンシップに参加したことで業界への強い関心につながりました。

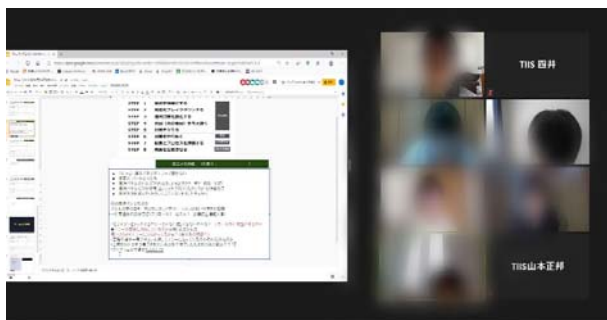


顧客ヒアリングでは社員がお客様役になりリアルな雰囲気を体感！

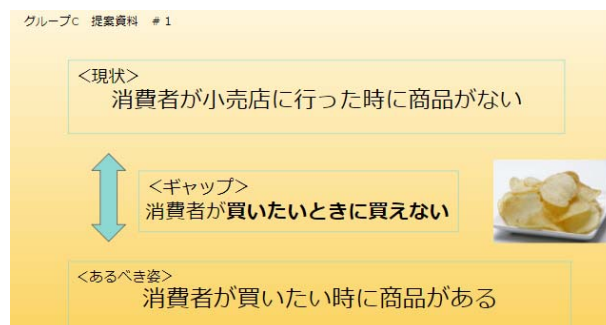
問題解決の8つのステップ

STEP 1	問題を明確にする	PLAN
STEP 2	問題をブレイクダウンする	
STEP 3	達成目標を設定する	
STEP 4	真因（真の要因）を考え抜く	
STEP 5	対策を立てる	
STEP 6	対策をやり抜く	DO
STEP 7	結果とプロセスを評価する	CHECK
STEP 8	成果を定着させる	ACTION

トヨタ流問題解決技法で有名な「8つのステップ」の一部を実践！



画面共有機能を用いながらディスカッションを行い、WEB会議を体験！



最終成果発表会では作成した提案書をオンラインで発表！